

インターバンクの声（2016 年 2 月 12 日）

昨夜、東京時間の午後 9 時頃、市場に政府・日銀が介入したのではないかと
の観測が広がった。ドル円がロンドン市場の早朝に 111 円を割り込んでい
たこともあって、一時的に 113 円台を回復したが、その後のニューヨーク
市場で再び 111 円台まで円買いが進んでしまったのを見るにつけ、単に今
回のドル売り圧力の強さを再認識しただけのようだった。政府筋は、介入し
たかどうかについてはコメントしないと述べるに留めたが、過去の例から考
えたと「ノーコメント＝実際の介入有り」の可能性も結構高いかも知れない。
どの程度の金額でどの程度の反応があるのかを試していたとすれば、昨夜の
検証でどのような感触を得たのだろうか。前回、日銀が介入したのは 4 年 4
ヵ月前にドル円が 75 円台まで円高が進行した時だ。当時も、市場は半ば円
高相場に諦めのような気持ちを抱いてしまっていたこともあって、なかなか
介入が功を奏さなかったような記憶があるが、今回の市場も 115 円を割り
込んでからは、ドル売りに安心感があるような相場に転換してしまっており、
今後、日銀の介入が明らかになったとしても 116 円位まで修正させるのが
やっとかも知れない。今日のアジア市場や海外市場で 113 円台後半までの
反発があるのか再度 111 円台に沈むかで来週のトレンドが見えそうだ。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三
者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡
または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を
保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社お
よび本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘
を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。